

Brief translation of JP 1-156911 U

[Title of the Invention]

Guide unit of movable mold in a horizontal mold apparatus

[Reference numerals]

2... movable mold, 5... pressure receiving block, 6... bed face, 8... adjusting screw, 10... pressure receiving concave, 11... detecting concave, 13... main air supplying tube, 14... pressure adjustment valve, 15... detection air supplying tube, 17...contraction, 18... feed back tube.

## ⑫ 公開実用新案公報(U)

平1-156911

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)10月30日

B 29 C 33/20

8415-4F

45/64

7639-4F

45/83

7258-4F

// B 22 D 17/20

Z-7169-4E 審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑮ 考案の名称 横型金型装置における可動型板のガイド装置

⑯ 実 願 昭63-53750

⑰ 出 願 昭63(1988)4月21日

⑱ 考 案 者 杉 山 昭 埼玉県川口市中青木2丁目18番21号 株式会社山城精機製作所内

⑲ 考 案 者 及 川 勝 彦 長野県佐久市大字中込3600 株式会社ツガミ信州工場内

⑳ 出 願 人 株式会社山城精機製作所 埼玉県川口市中青木2丁目18番21号

㉑ 出 願 人 株式会社ツガミ 東京都港区新橋1丁目18番16号

㉒ 代 理 人 弁理士 尾崎 光三

## ㉓ 実用新案登録請求の範囲

(1) 可動型1が装着された可動型板2の下部に受圧ブロック5を取付けて、該受圧ブロック5がベッド面8上を摺動するようにして成る横型金型装置における可動型板のガイド装置において、前記受圧ブロック5の下面に受圧凹部10と、該受圧凹部10に隣接して検出凹部11とを形成し、上記受圧凹部10には、圧力調節弁14を挿入した主エア供給管13を連結し、検出凹部11には、検出エア供給管16を連結するとともに、該検出エア供給管16と前記圧力調節弁14をフィードバック管18で連結して、検出エア供給管16内のエア圧力に応じて圧力調節弁14の弁開度を調節するようにしたことを特徴とする横型金型装置における可動型板のガイド装置。

(2) 前記可動型板2と受圧ブロック5の接合面2

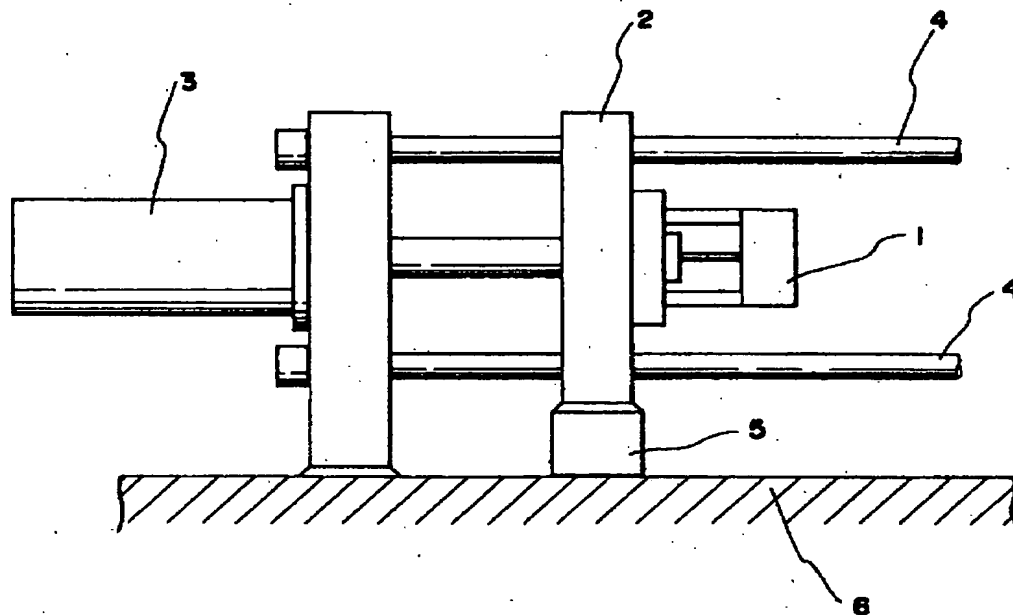
a, 5aをテーパ面として、該可動型板2と受圧ブロック5をアジャストネジ8によつて連結し、該接合面2a, 5aが互いに摺動可能になるように取付けて成る請求項1の横型金型装置における可動型板のガイド装置。

## 図面の簡単な説明

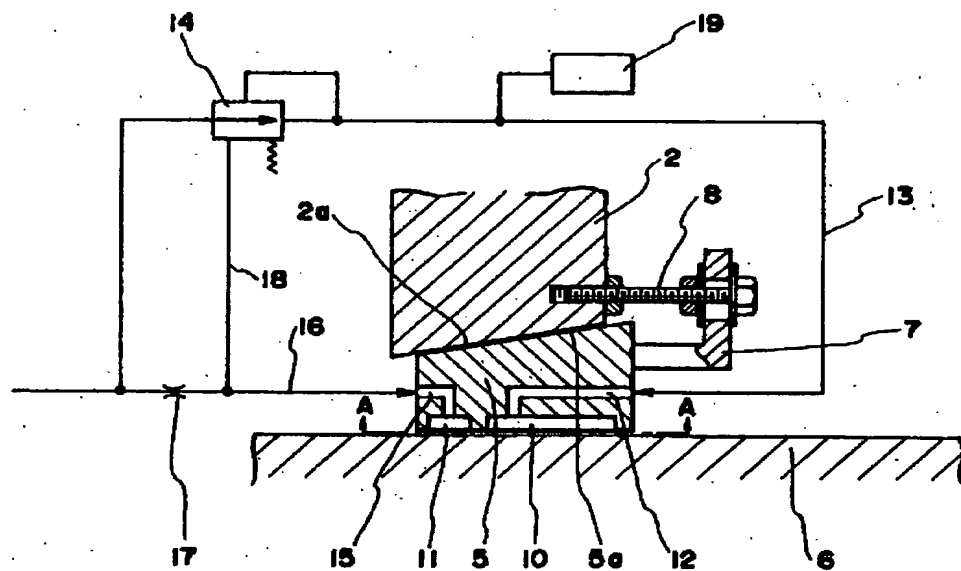
第1図は従来技術の側面図、第2図及び第3図はこの考案の実施例であつて、第2図は側面説明図、第3図は第2図のA-A矢視図である。

2……可動型板、5……受圧ブロック、6……ベッド面、8……アジャストネジ、10……受圧凹部、11……検出凹部、13……主エア供給管、14……圧力調節弁、16……検出エア供給管、17……固定紋り、18……フィードバック管。

第 1 図



第 2 図



第 3 図

